

平成30年度鳥取県営病院事業

決算概要説明資料

病 院 局

平成30年度鳥取県営病院事業決算概要

病 院 局

1 概 要

- 病院事業全体では、経営状況を判断する経常損益は9年連続で黒字を計上し、純損益(経常損益+特別損益)でも、105百万円の利益を計上した。
 ○病院別の経常損益は、中央病院では17年連続の黒字(751百万円)を計上し、厚生病院は前期の赤字から一転、黒字(290百万円)となった。
 ○各年度の損失(赤字)額の累積である累積欠損金は、病院事業全体で約60億円から約59億円に微減した。
 なお、減価償却費等の累計が約261億円あり、経営に支障はない。

2 収益的収入及び支出

(単位：百万円(税抜))

区 分	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	差 引 (A)-(B)	主 な 増 減 理 由 等
病院事業収益	22,715	21,512	1,203	○入院収益及び外来収益の増
中央病院	15,145	14,202	943	
厚生病院	7,570	7,310	260	
医業収益	19,582	18,659	923	
医業外収益	2,979	2,713	266	
特別利益	154	140	14	
病院事業費用	22,610	21,586	1,024	○薬品費の増(251百万円) ○診療材料費の増(126百万円) ○退職給付引当金(※)674百万円(中央：353百万円、厚生：321百万円)
中央病院	15,007	13,932	1,075	
厚生病院	7,603	7,654	△51	
医業費用	20,493	19,987	506	
医業外費用	1,027	902	125	
特別損失	1,090	697	393	
経常損益	1,041	483	558	(医業収益+医業外収益) - (医業費用+医業外費用)
中央病院	751	531	220	
厚生病院	290	△48	338	
純損益 (収入-支出)	105	△74	179	経常損益+特別利益-特別損失
中央病院	138	270	△132	
厚生病院	△33	△344	311	
累積欠損金 (当年度未処理欠損金)	△5,891	△5,996	105	
中央病院	△862	△1,000	138	
厚生病院	△5,029	△4,996	△33	
減価償却費等累計	26,096	25,481	615	

※退職給付引当金：H26の公営企業会計基準の見直しにより、5年間(H26~30)にわたって退職金相当額を計上するもの。

3 資本的収入及び支出

(単位：百万円 (税込))

区 分	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	差 引 (A)-(B)	備 考
資 本 的 収 入	17,979	10,000	7,979	
企 業 債	16,669	8,302	8,367	建設改良費に充当
負 担 金	819	861	△ 42	企業債償還金に充当
補 助 金	488	799	△ 311	建設改良費に充当
固 定 資 産 売 却 代 金	1	38	△ 37	
そ の 他 の 収 入	2	0	2	
資 本 的 支 出	23,274	11,458	11,816	
建 設 改 良 費	18,471	9,817	8,654	
企 業 債 償 還 金	1,503	1,641	△ 138	
一般会計精算金	3,300	0	3,300	○一般会計精算金 (※) 3,300百万円
収 入 - 支 出	△ 5,295	△ 1,458	△ 3,837	
中 央 病 院	△ 4,965	△ 1,101	△ 3,864	
厚 生 病 院	△ 330	△ 357	27	

※一般会計精算金：過年度に交付された病院事業交付金の精算。

■主な整備事業

【中央病院】

○建替整備事業 13,566百万円(24,301百万円)

新病院建設工事(建築) 7,844百万円(14,233百万円)

新病院建設工事(電気設備) 1,752百万円(4,310百万円)

新病院建設工事(空調設備) 2,888百万円(3,418百万円)

新病院建設工事(衛生設備) 1,082百万円(2,340百万円)

※カッコ内の金額は平成28年度から平成30年度の総額

○外来棟整備事業 58百万円

○医療機器等整備事業 4,545百万円(うち建替関連4,460百万円)

(電子カルテ一式167百万円、新病院ネットワーク設備227百万円、PET-CT装置310百万円ほか)

【厚生病院】

○病室系統外調機改修工事 39百万円

○医療機器等整備事業 128百万円

(鏡視下手術システム28百万円、デジタルX線TV装置システム23百万円、手術用モニタ12百万円ほか)